

基本目標3 男女共同参画を次の世代につなげよう(基本施策7～9)

基本施策7 若い世代への分かりやすい男女共同参画

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
28	男女平等意識を育む保育の実施	子育て支援課	継続	実施時期:通年 対象:保育所長及び保育士 目的:子どもたちが性別による固定観念にとらわれずに成長していけるような保育を行っていく。 内容:男女の区別なく遊具や遊びを楽しめる環境づくりに努める。また、名前の呼び方や言葉掛け等、様々な場面において男女を区別しないよう注意する。 職員会議において、互いに問題を提起し、解決策を探り、共通認識を深めることにより、男女共同参画に関する正しい理解と実践に取り組む。 前年度からの改善点:日常保育及び行事等の職員ミーティングの場において、男女を区別しない子供への関わり方について、職員全員で意識共有を図る。 目標値:年3回	【実施状況】 内容:保育所長が集まる会議において啓発を行った。 工夫した点:保育所長が集まる会議において現状や問題点等の情報交換を行い保育所の意識統一を図った。 目標値に対する結果:所長会議年3回開催で目標値達成	保育所長会議の場や研修会等においてさらなる啓発を図っていく。	A 1…3点 2…— 3…3点 4…— 5…3点 6…3点 合計 12/12=100%
29	男女平等意識を育む人権教育の推進	小中一貫教育推進課	継続	実施時期:年間 対象:全市立学校 目的:男女平等の意識を育むには、子どもの頃から意図的、継続的に教育の機会を設定することが大切である。そのため、性差別を含むあらゆる差別をしない、見逃さない、許さない児童生徒の育成に重点をおき、全市立学校での人権教育を推進する。 内容:全市立学校が、性による差別を含むあらゆる差別をしない、見逃さない、許さない児童生徒の育成を目指した人権教育を推進するよう、学校訪問等を通じて指導、助言を行う。 前年度からの改善点:人権教育授業の実施が年度末になる学校がある。年間を通じて計画的に実施するよう各校に働きかける。 目標値:学校訪問、校長会議を通じて市内全市立学校に指導、助言を行う。 全市立学校が年2回以上の人権教育に関する職員研修を行う。 全市立学校が全ての学級で年2回以上の人権教育授業を行う。	【実施状況】 内容:校長会議、学校運営訪問を通じて、全市立学校に指導、助言を行った。また、全市立学校で、人権教育に関する職員研修、全学級で人権教育授業をそれぞれ年2回以上行った。 ○人権教育に関する職員研修:3回3校、2回25校 ○全学級での人権教育授業:4回1校、3回3校、2回24校 工夫した点:・学校運営訪問で、性差別を含む人権教育の実施について要項に記載し、全市立学校に指導・助言した。 ・校長会議で「第2次三条市男女共同参画推進プラン」を説明し、「基本目標」「基本施策」の共通理解を図った。 目標値に対する結果:指導助言100%、人権教育職員研修100%、人権教育授業100%で目標値達成	1月末までに人権教育に関する研修と人権教育授業を2回完了していない学校が2校あった。 年度末に慌てて職員研修・授業をすることがないように、計画的な実施を指導する。	A 1…3点 2…— 3…3点 4…2点 5…3点 6…3点 合計 14/15=93.3%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
30	多様な性を尊重する教育の充実	小中一貫教育推進課	継続	実施時期:年間 対象:全市立学校 目的:性差別に基づく役割分担意識が根強く残っている状況を解消していくためには、多様な性に関する理解を深め、互いに尊重し合う態度を育成していくことが大切である。そのために、義務教育9年間を通じて計画的に性に関する指導を推進する。 内容:全市立学校が、義務教育9年間の発達段階を踏まえ、専門家や養護教諭との連携による性に関する指導を充実させるよう、学校訪問、校長会議を通じて指導、助言を行う。 前年度からの改善点:県教委作成「性に関する指導の手引き」の指導計画例を示し、心身の発育・発達に限らず、自他の個性の尊重や望ましい人間関係の構築等に関する内容の指導も含まれることを周知し、多様な取組を促す。 目標値:学校訪問、校長会議を通じて全市立学校に指導、助言を行う。全市立学校が、全ての学級で性に関する指導を行う。	【実施状況】 内容:6月の校長会議で、「性に関する指導の手引き」の指導計画例を示し、全市立学校長に周知を図った。また、学校運営訪問を通じて、全市立学校に再度指導、助言を行った。全市立学校の全学級で「性に関する指導」を1回以上実施した。 ○全学級での性に関する授業:2回3校、1回25校 工夫した点:・校長会議で「第2次三条市男女共同参画プラン」を説明し、「基本目標」「基本施策」の共通理解を図った。・校長会議で「LGBT」についての民間調査結果を紹介し、どの学校にも性について悩んでいる児童生徒がいる可能性が高いことを指導した。 目標値に対する結果:指導助言100%、性に関する指導100%	1月末までに全学年で性に関する指導を完了していない学校が10校あった。 来年度は、年度末に近い時期に慌てて授業することのないよう、計画的な実施を指導する。	A 1…3点 2…ー 3…3点 4…2点 5…3点 6…3点 合計 14/15=93.3%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
31	こどもエブロンクラブ	生涯学習課 (大崎公民館)	継続	実施時期:1月23日(土) 対象:大崎・保内地区の小学生 目的:男女の隔てなく、平等に家事に対して興味を持ってもらえるよう、料理教室を通じて意識の向上を図る。 内容:男女関係なく、小さい頃から家事に興味を持てるよう、小学生を対象とした料理教室を実施する。 会場:大崎公民館 料理実習室・講義室 講師:食生活改善推進委員協議会大崎中学校区の皆さん 定員:12人(新型コロナウイルスの状況により、減少する可能性あり) 前年度からの改善点:参加率の低い男子児童の参加を促せるようなメニューを設定し、チラシやポスターなど男女の偏りが出ないデザインとする。 目標値:男子児童の参加率30%以上	【実施状況】 参加人数:12人(うち男児2人、女児10人) 内容:小さい頃から料理に興味を持ち、積極的にお手伝いをするきっかけとなるように、家庭で子どもたちでも作れる簡単料理の講演会を行った。(メニュー:オムライス、ジャガイモの1ロピザ、ココアカップケーキ) 講師:栄養士会三条支部 派遣講師 定員:各回6人の募集(新型コロナウイルス感染症防止のため、人数を減らして開催) 工夫した点:男女ともにアンケートで希望のあったオムライスをメイン料理として、子どもたちが家庭でも作りやすい手順とメニューを考えた。また、帰ってから実際に作りやすいように、調理時間や作業手順を具体的にレシピに記載した。 目標値に対する結果:男子児童の参加率16.7%で、目標値未達成 決算額:市費負担なし	引き続き、メニューや講座名などを工夫して男女ともに参加しやすくなるような講座を企画する。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…2点 5…3点 6…1点 合計 15/18=83.3%
32	きっず！楽しくクッキング	生涯学習課 (大島公民館)	継続	実施時期:未定 対象:主に大島・須頃地区の小学生 目的:男女の隔てなく、平等に家事に対して興味を持ってもらえるよう、料理教室を通じて意識の向上を図る。 内容:男女関係なく、子供達が料理を作る楽しさを知り、家庭で料理するきっかけとなるように料理教室を開催する。 前年度からの改善点:子供達が家でも作りたくなるようなメニューで開催する。 目標値:男子児童の参加率30%以上 予算額:9千円	【実施状況】 実施時期:令和3年3月6日(土) 参加者数:6人(うち男性2人、女性4人) 内容:プリンとバナナマフィン作りを体験し、家でも家族のために作ってもらえるよう計画した。 工夫した点:男女問わず人気のメニューを作ることで料理に興味を持ってもらい、講座後も作ってみたいと思うよう工夫した。 目標に対する結果:男子児童の参加率が30%以上だったため目標値達成 決算額:7千円	料理に対する興味を向上してもらうため、休日に家で作りたくなるようなランチメニューを取り入れたい。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18=100%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
33	さかえきつずキッチン	生涯学習課 (栄公民館)	継続	実施時期:1月～2月 対象:栄地区の小学生と保護者 目的:男女の隔てなく、平等に家事に対して興味を持ってもらえるよう、料理教室を通じて意識の向上を図る。 内容:調理器具の正しい使い方を学び、作ることの楽しさ・喜びを感じることで食への関心を高めるとともに、男女・年齢に関係なく一緒に作業することで、交流を図る。 前年度からの改善点:男子児童・男性保護者の参加割合を増やす為に、実施内容の検討とPRの仕方を工夫する。 目標値:男子児童・男性保護者の参加割合30%以上 予算額:38千円	【実施状況】 新型コロナウイルス感染症拡大により、参加者が集まらず中止(全3回) 内容:①ふわふわパン作り②包んで焼いて、餃子！③パックスッキングを体験しよう 工夫した点:男女双方の児童に興味を持ってもらえ、楽しく学べる内容を検討した。災害時にも対応できるよう、普段あまり体験することのない内容(パックスッキング)を取り入れた。 目標値に対する結果:－ 決算額:0円	開催時期の検討。(例年同じ時期に開催のため)内容の充実(子供行事の増加、環境多様化により参加者自体が少なくなっている中で、興味を持ってもらえ、学べるメニューの企画)	D 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…－ 6…－ 合計 12/12=100%
34	子ども料理教室	生涯学習課 (下田公民館)	継続	実施時期:8月 対象:下田地区の小学生 目的:次代を担う子ども達が男女に関わらず、料理においての知識を身に付け、その後の生活に役立てる事を目的とする。 内容:子どもたちが男女問わずに料理に興味を持ち、基本から応用まで学ぶことにより、家庭でも作る事が出来るようになるよう、子ども向けの料理教室を実施する。 会場:下田保健センター 講師:新潟県栄養士会三条支部 安中 君江さん 定員:12人 前年度からの改善点:男女・学年問わず、簡単に楽しく作れるような内容を考える。また、普段あまり料理に興味のない子どもでも作ってみたいくなるようなメニューを取り入れる。 目標値:男子児童の割合が30%以上 予算額:14千円	【実施状況】 参加人数:15人(うち男性3人、女性12人) 内容:子どもにも大人気のチーズドッグ作りを体験し、家でも家族のために作ってもらえるよう計画した。※新型コロナウイルス感染症による夏休みの短縮で実施回数を2回から1回に変更した。 工夫した点:男女問わず大好きなメニューを作ることで料理に興味を持たせ、その後も作ってみたいと思うよう工夫した。 目標値に対する結果:参加者の男子児童の割合が20%で目標値未達成。※応募者多数のため抽選を行ったことが影響している。 決算額:7千円	例年通り2回実施し、食事とスイーツの両方体験できるように実施したい。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…1点 合計 16/18=88.8%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
35	中学生・高校生のためのデートDV防止セミナー	地域経営課	継続	実施時期:年間 対象:中学生及び高校生 目的:交際相手からの暴力の問題について考える機会としてもらい、正しい知識と理解を深めることによりデートDVの防止を図る。 内容:講師(NPO法人女のスペース・にいがた)とともに学校に出向き、セミナーを実施する。 前年度からの改善点:内容満足度を高めるため、学校及び講師とよく連携を図りながら開催する。 目標値:デートDVについて理解を深めたと回答した割合90%以上 予算額:100千円	【実施状況】 実施時期:令和2年7月17日(金) 対象:三条市立大崎学園3年生 受講者数:85人(うち男性46人、女性39人) 内容:1時限分を使い、デートDVについてのセミナーを行った。 工夫した点:学年部の先生方からセミナー内の劇に参加いただくことで生徒の興味を引き出すことができた。 目標値への到達度:アンケートでデートDVについて理解を深めたと回答した割合97.6%(83/85人)で目標値達成 決算額:25千円	新型コロナウイルスの影響もあって、昨年からの本セミナー未実施校である中学校1校と高校2校に対して、開催の働き掛けを行ったが、実施には至らなかった。また、既に実施済の学校に対しても開催の働き掛けを行う。	A 1…3点 2…— 3…— 4…1点 5…3点 6…3点 合計 10/12=83.3%
36	児童・生徒に対する意識啓発	地域経営課	継続	実施時期:通年 対象:小学生及び中学生 目的:性別に捉われない家事の関わり方や職業選択に対する理解を促し、男女共同参画に対する意識啓発を図る。 内容:講師とともに学校に出向き、児童用啓発冊子を活用しながらセミナーを実施する。 目標値:性別に捉われない家事参加や職業選択について「興味を持った」と回答した割合80%以上 予算額:120千円	【実施状況】 実施時期:令和2年8月26日、8月28日、9月18日、11月16日、11月20日、令和3年1月27日 対象:三条市立栄北小学校、三条市立大浦小学校、三条市立旭小学校、三条市立大島小学校、三条市立飯田小学校、三条市立一ノ木戸小学校 受講者数:195人 講師:女性消防士【職業】、はっぴーズコミュ 代表 土田陽子氏【家事】 内容:性別に捉われない家事を題材とした男女の協力に関する講座を4回と性別に捉われない職業選択に関する講座を2回開催した。 工夫した点:家事カードの活用方法や講座の流れなど児童の学びに寄り添う実施方法について、学校側と打合せを行い実施した。 目標値:性別に捉われない家事参加や職業選択について「興味を持った」と回答した割合100%で目標値達成 決算額:62千円	家事を題材とした講座は特に様々な感想を得られた。家庭状況や生活経験の違いにより、児童の受け止め方は多様であるようだ。グループワークで他の児童と意見交換をすることで、多くの気づきを得てもらうために、展開方法など改良を図っていきたい。 また、講座を受けて児童がどのような学びや気づきを得たかを正確に把握するため、振り返りの内容を自由記述だけでなく、選択式の設問を追加する。	A 1…3点 2…— 3…3点 4…2点 5…2点 6…2点 合計 12/15=80%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
37	子育て世代に対する意識啓発	地域経営課	継続	実施時期:年間 対象:市民(主に20代から30代まで) 目的:婚姻等を契機に男女の区別のない家事・育児の関わり方について、働く男女間の相互理解を促す。 内容:男女の区別のない家事・育児の関わり方を促すチェックシート等を婚姻届受理時に配布する。 予算額:60千円 目標値:チェックシート内の家事分担項目(10項目中)において、「夫がする家事」の割合が50%以上	【実施状況】 対象:婚姻届を提出される夫婦 内容:市民窓口課ほか対象窓口で「家事シェアリングリーフレット」を配布 工夫した点:夫婦が一緒に作業する記入型リーフレットとし、お互いの家事に対する認識や今後の分担について考える内容となっている。大谷地和紙の記念台紙に挟んで保管することもできる。 目標値:回答内容の提供に賛同いただいた6組中のうち、「夫がする家事」の割合の平均が75%で目標値達成 決算(見込)額:30千円	来年度も家事と併せ育児の関わり方に関する啓発物等の作成を検討していく。	A 1…3点 2…ー 3…2点 4…ー 5…2点 6…3点 合計 10/12=83.3%

基本施策8 性別を理由にするあらゆる暴力の追放

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
38	DV(デートDV)防止の意識啓発の推進及び相談事業の充実	子育て支援課	継続	実施時期:通年 対象:市民 目的:DV、デートDVについての正しい知識を市民に浸透させ、個人の尊厳を傷つける暴力は許さないという意識を社会全体で共有する。 内容:DVは重大な人権侵害であるという認識を深め、DV防止に向けた意識啓発を図るため、リーフレットやポスターの掲示、燕三条FM(DV、デートDVに関する放送)等で啓発を行う。早期に相談体制が取れるよう、関係機関との連携強化に努める。 前年度からの改善点:研修会、講演会へ参加し関係機関との連携に努める。 予算額:62千円	【実施状況】 内容:・配偶者暴力防止実務担当者会議及びDV被害者支援セミナーZOOM出席 ・女性相談カードを庁舎内女子トイレ設置 ・女性に対する暴力をなくす運動期間におけるポスター及びリーフレットの掲示 ・成人式にデートDVについてのリーフレットを配布 工夫した点:すまいるランドの女子トイレに女性相談カードを新たに設置した。 決算(見込)額:50千円	引き続き、DV(デートDV)防止の意識啓発を推進し、継続して事業を行っていく。	A 1…ー 2…ー 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12=100%
39	中学生・高校生のためのデートDV防止セミナー(再掲)	地域経営課	継続	No.35に同じ			
40	市民に対する広報・意識啓発	地域経営課	継続	実施時期:通年 対象:市民、事業者 目的:性別を理由とするあらゆる暴力を防止するため、家庭や職場等で人権が尊重されるよう啓発活動に努める。 内容:ホームページや燕三条FM放送等で啓発を行うとともに、各種講座開催時にDV防止啓発リーフレットを配布する。「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11月12日から25日まで)に関する周知を行う。	【実施状況】 内容:燕三条FM放送で「女性に対する暴力をなくす運動」について周知した。また、講座開催時にDV防止啓発リーフレットを配布した。 「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて市役所内及び男女共同参画センターにポスターの掲示及びチラシの設置を行った。	引き続き、性別を理由とするあらゆる暴力を防止するための啓発をしていく。	A 1…3点 2…ー 3…ー 4…ー 5…3点 6…3点 合計 9/9=100%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
41	セクシュアル・ハラスメント防止のための教職員に対する啓発活動	小中一貫教育推進課	継続	実施時期:年間 対象:全市立学校 目的:セクシュアル・ハラスメントは重大な人権侵害であり、決して許されないものである。教育の場である学校現場からセクシュアル・ハラスメントを絶対に起こさないという意識を全市立学校教職員に徹底する。 内容:全市立学校が、教職員によるセクシュアル・ハラスメントの発生を防止できるよう、学校訪問や教職員管理に関わる通知等を通じて指導、啓発を行う。 前年度からの改善点:昨年度、発生件数が0件であったことに気を抜かず、学校訪問、校長会議で確実に指導を行う。 目標値:学校訪問、校長会議、通知を通じて全市立学校に指導、啓発を行う。全市立学校でのセクシュアル・ハラスメントの発生がない。	【実施状況】 内容:ハラスメントの防止を含む教職員の綱紀の保持及び服務規律の確保に関わる通知や指針を全市立学校に発出し、校長会議でも校長に指導した。学校運営訪問を通じて、全市立学校に指導、助言を行った。本年度、セクシュアル・ハラスメントの発生報告は0である。工夫した点:校長会議で「第2次三条市男女共同参画推進プラン」を説明し、「基本目標」「基本施策」の共通理解を図った。 目標値に対する結果:指導助言100%発生報告なし100%	来年度も、教育の場である学校現場からセクシャル・ハラスメントを絶対に起こさないという意識を全市立学校の全教職員に徹底する。	A 1…— 2…— 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12=100%
42	相談体制の充実	市民窓口課	継続	実施時期:通年 対象:市民 目的:性別を問わずDV等の相談に対し、適切な助言や情報提供を行い、必要に応じて関係機関等と連携を図りながら相談体制の充実に努める。 内容:「市民なんでも相談室」で受け付ける相談の中で、DVやセクハラ、JKビジネスに起因する事案又は遠因等となっている事案について、適切に対応するとともに、関係課や関係機関と連携し、未然防止や早期解決に努める。 予算額:911千円	【実施状況】 DV等の相談件数:4件 内容:DV等に関する相談については子育て支援課の女性相談や警察等、適切な相談窓口に繋いだ。 工夫した点:DV等の被害に遭っていることに気が付いていない相談者を継続的な支援ができる機関へ繋ぎ、関係課と連携した。 決算(見込)額:527千円		A 1…— 2…— 3…— 4…— 5…3点 6…— 合計 3/3=100%

基本施策9 みんなで知る男女共同参画

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
43	男女共同参画関連資料の収集・提供	生涯学習課(図書館)	継続	実施時期:年間 対象:市民 目的:男女共同参画関連資料の提供に継続して当たり、利用者に向けた情報の拡充と利用促進を図る。 内容:・関連資料を選択して収集の上提供 ・「男女共同参画関連資料コーナー」の資料充実による情報発信 ・ブックリストの作成・配布 ・図書館ホームページにブックリストを掲載 ・男女共同参画に関連したテーマ特集を本館特集コーナーで実施 前年度からの改善点:特集コーナーやブックリストの活用等で男女共同参画推進に関する情報発信に努め、利用者の関心を高めていく。 目標値:新たな関連資料を前年度と同様に収集の上、利用者に提供する。(昨年度収集実績82冊)	【実施状況】 内容:ブックリスト2種(2019年度下半期購入分、2020年上半期購入分)を6月8日、12月7日に作成し、本館・分館で来館者に提供した。また、上記のブックリストを図書館ホームページに掲載した。 工夫した点:女性が直面する問題のみならず、「男性の育休」や「同性」など「男女共同参画」についての資料を積極的に受け入れて、リスト化を行った。 目標値に対する結果:令和2年度に関連資料を104冊(1月31日現在)購入し、目標値達成。 男女共同参画に関する情報発信に努め、ブックリストの活用や関連資料コーナーの周知などを通じ、利用者の関心を高めたい。	男女共同参画関連資料の提供に継続して当たり、利用者に向けた情報の更なる拡充と利用促進を図る。また、図書館本館及び栄分館にて子育て関連資料を集めた「ママ本」コーナーを設置しているが、男女共同参画を推進している旨が分かるよう名称変更を検討する。	A 1…ー 2…ー 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12=100%
44	広報・啓発活動	地域経営課	継続	実施時期:通年 対象:市民 目的:男女共同参画意識の浸透を図る。 内容:男女共同参画推進について、ホームページ、燕三条FM放送など様々なメディアを活用し情報提供を行うとともに、講座等開催時のディスプレイ等の表示、チラシ・ポスターの配布など、あらゆる機会を捉えて啓発を行う。 目標値:FM放送回数8回	【実施状況】 内容:燕三条FM放送では、年間8回放送を行った。また、セミナーや講座開催時に男女共同参画についての説明を行ったり、パンフレットを配布するなど啓発に努めた。 工夫した点:燕三条エフエムのほか、「三条市勤労者福祉共済きょうさいだより」での講座に関する記事掲載を行った。 目標値に対する結果:燕三条FM放送回数8回で目標値達成	男女共同参画意識の浸透を図るため、引き続き幅広い団体へ啓発を行う。	A 1…3点 2…ー 3…ー 4…3点 5…3点 6…3点 合計 12/12=100%

基本施策10 女性の視点を活かした防災

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
45	自主防災組織等の育成・強化	行政課	継続	実施時期:通年 対象:市内全域 目的:女性が自主防災組織等の活動に参画するよう研修会、説明会、意見交換会等を通じて啓発を図るもの 内容:地域の防災力の強化を図るため、自主防災組織の育成・強化や自治会等が行う防災活動への支援に努めるとともに、女性が組織等の活動に参画するよう自主防災組織の立ち上げについて意見交換会、防災訓練時などで説明し、啓発を図る。また市民向けの防災研修会実施に当たっては、女性の参加を促進する視点で企画し、防災意識の啓発を行うことにより、自主防災組織への女性の参画を促す。 前年度からの改善点:自主防災組織役員に女性の参画(登用)を要請 目標値:自主防災組織登録数の3割(117団体*0.3=35.1≒35団体)	【実施状況】 内容:自主防災組織の育成・強化及び自主防災組織等活動への女性の参画を促すため、6/1～6/5に自治会長及び民生委員・児童委員を対象に地区別の地域防災研修会を開催するとともに、自治会等の防災訓練、防災研修等の支援を行った。 今後も自主防災組織等の育成・強化等につながる研修会等の開催や地域支援に努める。 工夫した点:地域防災研修会や地域での防災研修などの場で、災害時の対応や防災訓練などで多様な主体が参画する意義について説明を行った。 目標値に対する結果:女性の組織等への参画を含めた自主防災組織の年間活動の調査については、令和3年3月に実施予定。	ほとんどの地域において自主防災組織は自治会とはほぼ同じ組織であり、その防災活動においても自治会活動の一環として行われていることから、女性の委嘱率が高い民生委員・児童委員と自治会が一体となつて地域の防災活動が図られるよう推進していく。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…2点 合計 17/18=94.4%
46	広報・啓発活動	地域経営課	継続	実施時期:通年 対象:市民 目的:防災・災害分野への女性の参画を促進する。 内容:ホームページや燕三条FM放送等で、防災・災害の分野における女性の視点の必要性等について啓発を行う。 目標値:FM放送回数1回	【実施状況】 内容:7月9日・2月11日放送の燕三条FM放送放送で、防災・災害の分野における女性の視点の必要性について啓発を行った。また、出前講座に関する問合せ時に、団体に対し、防災における男女共同参画の必要性に関するテーマのものを案内した。 工夫した点:出前講座に関する問合せの際に、テーマ内容について周知した。 目標値への到達度:燕三条FM放送回数2回で目標値達成	今後も防災・災害分野への女性の参画が図られるよう、引き続き啓発を行う。	A 1…3点 2…— 3…— 4…— 5…3点 6…2点 合計 8/9=89%